

登録コード	TT210300	開講年度	2026				
授業科目	機械システム概論				担当教員	種村 昌也	
英文授業名	Introduction to Mechanical Systems				副担当		
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	該当
					備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 Tカリ						
	【26T～】共通教育による幅広い教養と，工学の専門分野における基礎学力が身についている。				・機械システムの基礎知識を習得し、それを応用して実際の問題を解決できるようになる。 ・機械システム工学の成り立ちや考え方を理解して、工業技術について自分で考え他人に説明できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	身近な機械やロボットを題材として、機械のメカニズムや設計法について学習する。 また、機械をつくるために必要となる、材料力学、熱力学、流体力学、ロボット工学、材料、加工、計測技術、などに関する基礎的な知識を習得する。						
(5)授業計画	第01回04/20 概論 担当：辺見 第02回04/27 材料力学 担当：西村 第03回05/01 熱力学 担当：浅岡 第04回05/11 流体力学 担当：松原 第05回05/18 ロボット工学 担当：酒井 第06回05/25 材料 担当：松中 第07回06/01 加工 担当：榊 第08回06/08 計測 担当：高山						
(6)成績評価の方法	各テーマごとのレポートまたは授業内の小テストにより評価する。 講義を通して学んだこと、身近な機械やロボットについて自ら調べたこと、などをまとめる。 機械の仕組み、材料力学、熱力学、流体力学、ロボット工学、材料、加工、計測技術についての考え方や基礎的知識の習熟度を評価する。 8 個の各テーマ毎に100点満点として集計して、 8 個の平均を成績入力する．ただし、未提出（0点）が 3 個以上の場合は 不可（0点）とする．						
(7)成績評価の基準	8つのテーマの素点を総合し、100点満点に換算することにより、機械システムに関する幅広い知識の到達度を測り、つぎのように評価する。 可:60%程度の基礎知識を有する。 良:70%程度の基礎知識を有する。 優:80%程度の基礎知識を有する。 秀:90%以上の基礎知識を有する。						
(8)事前事後学習の内容	技術の幅の広げるためには、この授業をきっかけに、各テーマの専門書を一読することが望ましい。						
(9)履修上の注意							
(10)質問,相談への対応	各テーマの担当教員へ質問すること。						
(11)その他							
【教科書】	指定なし						
【参考書】	指定なし						